

柱 II

経済のエンジン

プロジェクト

6

産業創出

～明日の県内経済を担う産業づくり～



成長産業の創出を促すライフイノベーションセンターや特区で開発が進むロボット

製造業の事業所数が

依然として減少傾向にあるなど

産業構造の転換が一層進んでいます。

また、国内外の経済には

様々な懸念要因があり、

企業経営は引き続き楽観視できない

状況が続くと見込まれることから、

さらなる県内経済の活性化が

求められています。

そこで、国家戦略特区など

3つの特区を活用し、

最先端医療やロボットなど成長産業の

創出・育成を図るとともに、

企業誘致やベンチャー支援、

県内企業の技術高度化などにより

競争力の高い産業の集積

及び中小企業への支援を進めます。

- ▶ 成長産業の創出・育成による地域経済の活力向上
- ▶ 企業誘致などによる県内経済の拡充
- ▶ 技術の高度化などによる県内産業の競争力強化



具体的な取組み

A 成長産業の創出・育成

- 「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」などの取組みを通じて、最先端医療関連産業の創出・育成を図るため、再生・細胞医療の産業化拠点「ライフイノベーションセンター(仮称)」の整備や、最先端医療機器などの安全性や有効性を評価するための科学的な手法であるレギュラトリーサイエンスの研究などの取組みを推進します。
- 神奈川発の未病産業の創出・育成を図るため、未病産業研究会の活動の推進や未病産業の創出に資するモデル事業、未病サミットの開催などの取組みを推進します。
- 生活支援ロボットの実用化・普及を図り、関連産業の成長を促進するため、「さがみロボット産業特区」の取組みを推進します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
最先端医療関連産業の創出・育成 実施主体 県、市町村、民間		最先端医療関連産業の創出・育成支援		
未病産業の創出・育成 実施主体 県、市町村、民間		未病産業の普及や 商標「ME-BYO」を活用したブランド化促進		
ロボット関連産業の創出・育成 実施主体 県、市町、民間		生活支援ロボットの実用化・普及の促進		

B 企業誘致などによる産業集積の促進

- 県内経済の活性化と雇用の創出をめざして、研究所などの新規立地や県内企業の再投資を促進し、2つの総合特区や国家戦略特区などに関連産業を集積するため、経済的インセンティブによる支援や「県版特区」の推進、プロモーション活動の重点的な展開などにより、ロボット関連産業やライフサイエンス関連産業などの企業を誘致します。
- ライフサイエンスなど成長分野において、ベンチャーが取り組むプロジェクトの事業化や起業を促進し、競争力の高い企業を集積するため、有望なプロジェクトを全国から募集・採択し、経営・技術面など総合的に支援します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
企業誘致による産業集積の促進 実施主体 県、市町村		プロモーション活動の展開、企業誘致		
ベンチャーが取り組むプロジェクトの事業化・起業促進 実施主体 県		プロジェクトの募集・採択		

C 技術の高度化・科学技術研究の推進

- 「神奈川R&Dネットワーク構想」の推進などにより、県内中小企業の技術高度化を促進します。
- 県内企業に対する技術支援を強化し、県内からイノベーションの創出を図るため、地方独立行政法人を設立し、新たな技術支援体制を構築します。
- 中小企業の技術高度化や起業の促進など競争力を高める原動力として、産業の発展と県民生活の質の向上に資する科学技術の研究活動を重点的に展開します。

主な取組内容	2015	2016	2017	2018
県内企業の技術高度化の促進 実施主体 県、民間		技術支援、研究会などの実施		
新たな技術支援体制の構築 実施主体 県、民間		新法人設立準備	新体制による技術支援	
大学、企業、研究機関などと連携した科学技術の重点的研究の推進 実施主体 県、民間		産学公連携研究の実施		